

令和2年6月 青葉区議員団会議

次 第

日時：令和2年6月9日（火）（書面開催）

報告事項

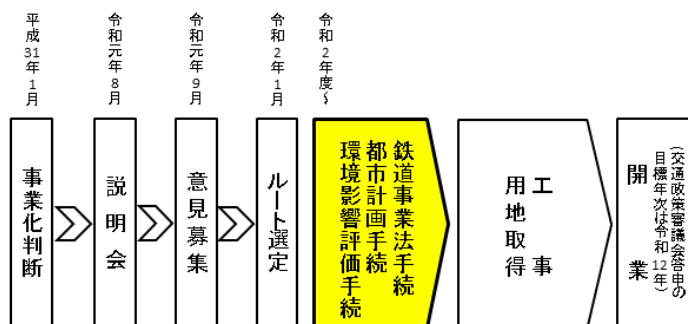
- 1 高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）の環境影響評価手続きについて
（交通局建設改良課・資料1）
- 2 藤が丘駅前地区再整備基本計画の策定について
（都市整備局市街地整備推進課・資料2）

配付資料

- ・横浜市人口ニュース No. 1126（令和2年6月1日現在）
- ・青葉消防署管内火災・救急状況

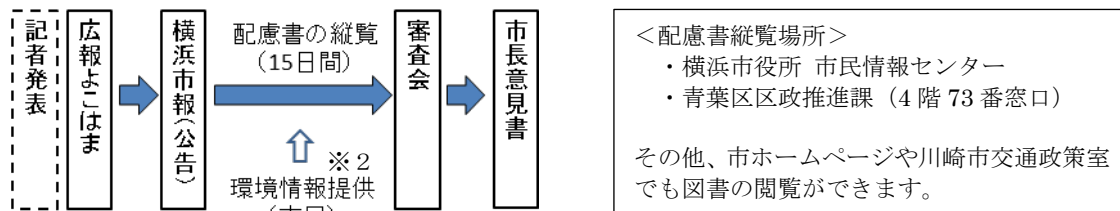
市営地下鉄 3 号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘間） に関する
環境影響評価（配慮書）手続きについて

市営地下鉄 3 号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘間）については、平成 31 年 1 月に本市として事業化を判断し、令和 2 年 1 月に川崎市と概略ルート・駅位置の基本的な考え方に関して合意しました。ついで、本事業に係る横浜市域内 ^{※1}の施設について横浜市環境影響評価条例に基づき、計画段階配慮書を作成し、縦覧を行います。



※ 1 川崎市域については、川崎市の環境影響評価条例に基づき、別途準備書から手続きを進めます。

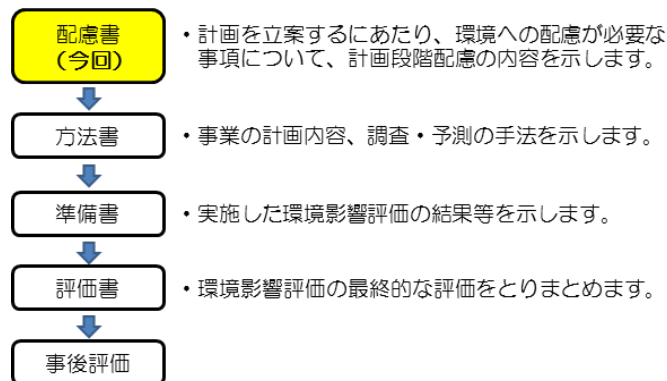
◆ 配慮書の公告・縦覧等



※ 2 配慮書について環境の保全に関する情報をお持ちの方は、市長に環境情報提供書を提出することができます。

(参考) 環境影響評価手続きの流れ

環境影響評価（環境アセスメント）制度は、環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業を実施しようとする事業者自らが、その事業が環境に及ぼす影響について事前に調査、予測、評価を行い、その結果を公表し、市民や市長から意見を聴くなどの手続を通じて、適切な環境保全対策等を検討し、事業計画に反映させる制度です。



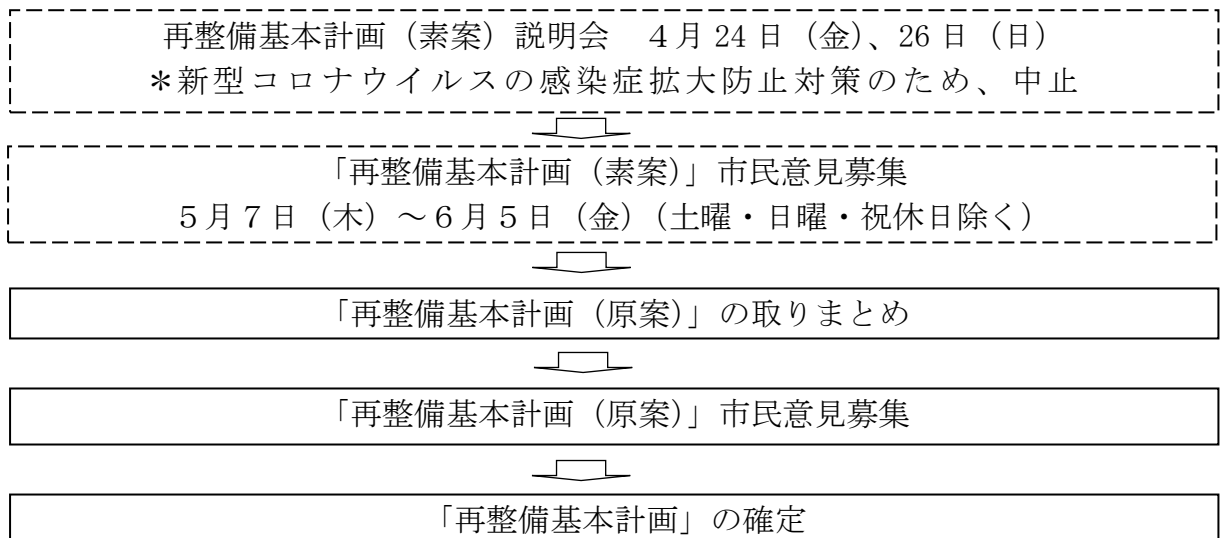
藤が丘駅前地区再整備基本計画の策定について

(都市整備局)

「藤が丘駅前地区再整備基本計画」は、藤が丘駅北側の区域（「検討対象範囲」。下図参照）について、上位計画である都市計画マスタープラン青葉区プラン「青葉区まちづくり指針」や田園都市線駅周辺のまちづくりプランを受け、再整備の考え方など、新たなまちづくりに取り組むための方針等を示すものです。これまでに横浜市、東急株式会社、学校法人昭和大学の三者共同でワークショップ等を開催し、地域の皆さまからご意見等をいただきながら本計画の作成を進めています。

このたび、「再整備基本計画（素案）」として取りまとめ、市民意見募集を実施しました。今後頂いたご意見などを参考とし、「再整備基本計画（原案）」を取りまとめ、再び市民意見募集を実施し、今年度中に「再整備基本計画」を確定させる予定です。

【進め方（予定）】



【検討対象範囲】



問合せ先： 都市整備局 市街地整備推進課 TEL (671) 3519

土地利用等の方針

【沿道街区】

駅前にはふさわしい都市機能の集積を図るとともに、にぎわい軸に面する部分に住民や来訪者の利便性を高める機能を誘導し、魅力的でにぎわいのある都市空間を形成します

【公園・病院街区】

昭和大学藤が丘病院は、病院機能の継続や高度医療に対応するため、土地の高度利用(容積率 400%・高さ 60mを上限)を図るとともに、街区内道路の再整備により、公園敷地と病院敷地を大街区化し、都市公園を再配置します
にぎわい・交流に寄与するよう谷本公園周辺プロムナードに面した建物低層部や公園に面する位置に生活利便施設の導入を図ります
駐車場、公共駐輪場、生活利便施設等を整備し、昇降機能や病院敷地内の広場に通行機能を確保するなど、公園や駐輪場と駅方面とのバリアフリー動線を確保します

【駅前街区】

交通広場は、既存の交通機能を継続的に確保します
藤が丘ショッピングセンターは、土地の高度利用(容積率 400%・高さ 45mを上限)に併せて、建物低層部に生活利便施設を配置するとともに、居住機能の確保を図るため、建替えを検討します



※現時点のイメージであり、今後の協議・検討状況により内容が変更になる場合があります

【景観形成の方針】

豊かな緑に包まれたまちに憩いや安らぎが感じられる景観づくり

- 周市街地に配慮した建物配置
- 豊かな緑が感じられ、自然の地形を生かした空間の形成
- 回遊したくなる歩行者空間の景観形成
- 藤が丘の玄関口に相応しい駅前空間の顔づくり
- 通りの両側で創出するにぎわい軸の景観形成
- 場所ごとに特色のある多様な広場空間の形成
- 広場や公園等と建物が一体となったにぎわいの創出

鳥瞰イメージ (北東側より)

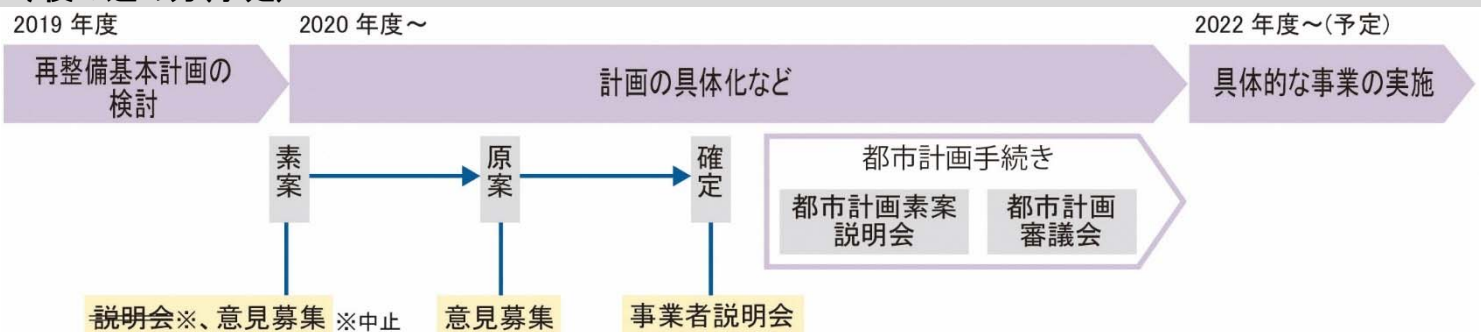


鳥瞰イメージ (南西側より)



※現時点のイメージであり、今後の協議・検討状況により内容が変更になる場合があります

今後の進め方(予定)



編集・発行

横浜市都市整備局 市街地整備推進課 (eメール tb-seibusu@city.yokohama.jp)
東急株式会社 沿線開発事業部 開発第二グループ (eメール fujigaoka.pi@tkk.tokyo.co.jp)
学校法人 昭和大学 藤が丘病院再整備準備室 (eメール fujisai@ofc.showa-u.ac.jp)

藤が丘駅前地区再整備基本計画(素案)【概要版】

令和2年4月発行 横浜市都市整備局・東急株式会社・学校法人 昭和大学

背景・現況・課題

○策定の背景

藤が丘駅前では、老朽化が進みつつある昭和大学藤が丘病院(築44年)や藤が丘ショッピングセンター(築52年)の建替えなどの機能更新が考えられることから、その機会をとらえ、医療施設がまちなかに立地する特徴を生かし、隣接する駅前施設や公園、商店街と連携した、一体的なまちづくりを行い、地域の魅力向上を図ることが望まれます。

本計画は、上位計画である都市計画マスタープラン青葉区プラン「青葉区まちづくり指針」や田園都市線駅周辺のまちづくりプランを受け、藤が丘駅北側の区域(以下「本地区」という)について、まちの再整備の目標や考え方を地域、事業者、行政の3者が共有し、協力して「駅前施設・病院・公園」が一体となった新たなまちづくりに取り組むための方針を示します。

○藤が丘駅前地区の現況

【地形】全体に緩やかな谷戸状の地形。特に病院付近の地形の高低差が大きく、病院外周部で最大約18m程度の高低差がみられます。藤が丘駅南口付近も急な坂があり、国道246号の高架下から藤が丘駅にかけても高低差があり、起伏に富む地形です。

【昭和大学藤が丘病院】横浜北部地域の中核的な病院として高度医療等を担っています。

【駅前の商店街】藤が丘駅周辺には商業施設や店舗併用住宅が多く、病院があるまちであることから薬局が多くみられるのが特徴的です。藤が丘駅周辺には、住宅地に近接してスーパー等が立地していますが、近年では駅周辺の「卸売業・小売業」等は縮小傾向にあります。

【市営駐輪場】藤が丘駅前公園の下部に市営駐輪場(自転車213台、バイク215台)があります。

【乗降客数の推移】藤が丘駅の平成30(2018)年度の乗降客数は2.7万人/日となっています。

【駅周辺環境の満足度】藤が丘駅を最寄り駅とする区民を対象に実施した区民意識調査(令和元年度)では「病院・診療所」「自然環境」の満足度が高くなっています。一方、「送迎用の駐車スペース」「駐輪場の位置や量」「まちなかで座れる場所や落ち着ける場所」「日用品以外の買物」「落ち着いて読書や勉強等が出来る場所」への不満は高くなっています。



※国土地理院：地図・空中写真閲覧サービス：20070426(平19)：CKT20072-C27-10を加工して作成

○藤が丘駅前地区の課題

【緑・オープンスペース】

- 緑豊かな駅前空間の維持・向上
- 落ち着ける、一息つけるオープンスペースの不足
- 谷本公園周辺プロムナードとつながる緑豊かなまちづくりの実現

【道路・交通】

- 地区内交通の利便性の確保
- 歩行空間の安全性の確保
- 利用者ニーズに応じた駐輪場の確保
- 藤が丘駅交通広場・駅周辺道路の利便性の向上

【にぎわい・安心】

- 次の50年に向けたまちの顔づくり
- 地域の中核的な病院の耐震性・機能更新
- 日常生活を支える機能や魅力的な店舗の充実
- 藤が丘ショッピングセンターの機能更新
- 沿道の魅力づくり

- 藤が丘駅前公園
 - ・駅前公園の緑の維持・向上
- 昭和大学藤が丘病院
 - ・建物・設備が老朽化し、医療の高度化も進んでいることから面積や空間の不足、耐震性に課題
- 沿道の街並みづくり
 - ・魅力的な生活利便施設等の立地による、沿道の魅力づくり
 - ・谷本公園周辺プロムナードとつながる豊かな緑



- 藤が丘ショッピングセンター
 - ・近年では建物の老朽化が進んでおり、買い物が不便である等の声が上がっている
- 藤が丘駅交通広場・駅周辺道路
 - ・安全な歩行空間の確保や一般車の乗降スペースの確保など更なる利便性の向上が期待される
- 高低差の解消
 - ・地形の高低差があり、高齢化が進む中で、日常の移動手段の確保は深刻な課題

再整備の目標

「田園都市線駅周辺のまちづくりプラン」等の上位計画を踏まえ、本地区及び本地区周辺のまちづくりの課題を解決しつつ、ワークショップ等を通じていただいたご意見や将来像を実現していくために、まちづくりの目標を次のように設定します。

オープンスペース、病院、駅前の商業等が連携した、 藤が丘らしい駅前拠点の形成

再整備の基本方針

緑・オープンスペース 藤が丘を象徴する公園・病院の一体整備と緑豊かなホッとする居場所づくり

道路・交通 安全で快適な駅前交通環境の形成

にぎわい・支 安心で健康なまちのモデルとなる駅前の機能集積と地域連携

再整備の考え方



再整備基本計画(素案)は、平成31年1月・令和元年9月に開催したワークショップ(延べ開催回数7回)等を通じていただいた様々なご意見を検討に反映させ、修正を加えながら作成したものです。

- ・豊かな緑や居心地の良さが感じられる多様なオープンスペースの創出
- ・公園・病院の一体整備による緑あふれる空間の創出
- ・地区の骨格となる谷本公園周辺プロムナードの強化



○公園等の整備方針

- ・公園の規模は現状と同等以上を確保し、機能の維持・向上を図ります
- ・病院敷地のオープンスペースは、公園と一体的な空間として整備します
- ・各方面から公園を利用しやすい歩行者動線を整備します
- ・日常的な利用や地域のコミュニティ活動に寄与する空間として整備します
- ・公園の既存樹木の保全・継承を検討します

- ・沿道の歩行者空間の拡充
- ・回遊性のある歩行者ネットワークの形成
- ・バリアフリーに配慮した歩行者にやさしい環境の形成

○道路等の整備方針

- ・公園・病院街区の大街区化に伴う道路・歩行者空間及び駐車場・公共駐輪場を再整備します
- ・交通広場は、既存の交通機能を継続的に確保し、利用実態に合わせて一般車や歩行者動線を検討します



- ・病院機能の維持・更新による安心できる災害に強いまちづくりの推進
- ・にぎわい軸の形成と生活便利・生活支援・地域交流機能の拡充
- ・地域と連携し、まちを育むエリアマネジメントの推進

<エリアマネジメント>

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業者・地権者等による主体的な取組のこと



【導入機能の例】

●にぎわい機能

- 【例】・店舗(日用品販売、サービス業等)、飲食店
・学習塾
・その他上記に類するにぎわい施設

●文化・地域交流機能

- 【例】・学校、図書館、集会所
・展示場、集会場
・劇場、映画館、演芸場
・その他上記に類する文化・地域交流施設

●医療・健康に関する機能

- 【例】・診療所
・老人ホーム、保育所、福祉ホーム
・老人福祉センター、児童福祉施設
・その他上記に類する医療・健康に関する施設



人口総数

3,760,157 人

対前月比 $\Delta 310$ 人 \downarrow
 対前年同月比 $+11,675$ 人 \uparrow

世帯総数 1,730,110 世帯

※ 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果（確定値）を基礎とし、住民基本台帳法及び戸籍法の定める届出等の増減を加減して推計しました。

1 横浜市の世帯数と人口

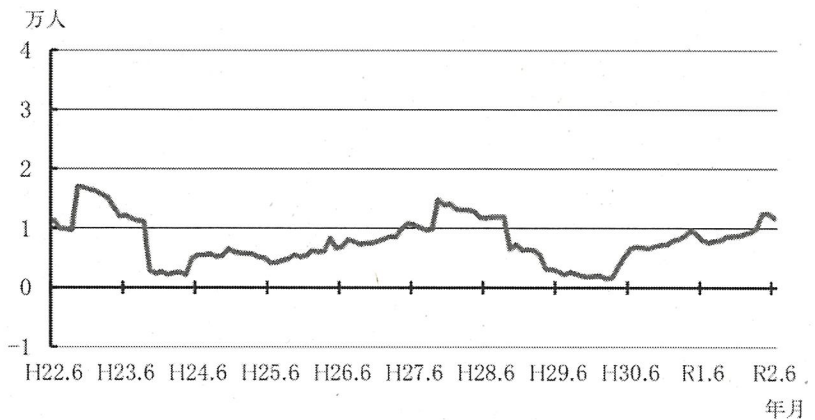
令和2年6月1日現在推計

区 分	世 帯 数	人 口			1世帯 当たり 人 員	面 積 (km ²)	人 口 密 度 (人/km ²)	届出による 前月比増減		前年同月 比の増減
		総 数	男	女				世帯数	人 口	
横浜市	1,730,110	3,760,157	1,867,812	1,892,345	2.17	435.50	8,634	202	-310	11,675
鶴見区	141,908	293,924	151,853	142,071	2.07	32.38	9,077	-10	-34	1,489
神奈川区	127,620	246,252	124,953	121,299	1.93	23.59	10,439	-10	-23	1,849
西区	56,425	104,527	52,887	51,640	1.85	6.98	14,975	-78	-80	1,075
中区	82,912	151,621	79,585	72,036	1.83	21.14	7,172	30	17	2,106
南区	101,155	196,297	97,980	98,317	1.94	12.63	15,542	41	-43	435
港南区	94,766	213,784	104,740	109,044	2.26	19.86	10,765	1	-76	-231
保土ヶ谷区	97,442	205,952	102,378	103,574	2.11	21.81	9,443	34	-5	227
旭区	106,941	245,070	118,606	126,464	2.29	32.78	7,476	10	-100	-536
磯子区	77,673	166,696	82,033	84,663	2.15	19.02	8,764	20	-56	78
金沢区	88,958	197,790	96,863	100,927	2.22	30.68	6,447	-30	-102	-997
港北区	172,943	356,134	179,810	176,324	2.06	31.37	11,353	95	294	3,271
緑区	78,842	182,936	90,004	92,932	2.32	25.42	7,197	14	-21	991
青葉区	130,733	311,336	150,892	160,444	2.38	35.06	8,880	20	-25	1,209
都筑区	84,714	213,204	106,019	107,185	2.52	27.88	7,647	-6	-53	955
戸塚区	120,575	281,158	137,485	143,673	2.33	35.70	7,876	63	80	784
栄区	51,946	119,773	58,234	61,539	2.31	18.55	6,457	-21	-37	-317
泉区	62,896	151,982	74,147	77,835	2.42	23.56	6,451	20	-23	-71
瀬谷区	51,661	121,721	59,343	62,378	2.36	17.11	7,114	9	-23	-642

2 世帯数及び人口の推移

区 分	世 帯 数	人 口
27年10月1日	1,645,618	3,724,844
28年10月1日	1,660,256	3,731,293
29年10月1日	1,673,662	3,733,234
30年10月1日	1,690,932	3,740,172
元年10月1日	1,710,900	3,748,781
元年6月1日	1,707,854	3,748,482
2年1月1日	1,713,356	3,749,929
2年2月1日	1,713,417	3,749,162
2年3月1日	1,713,760	3,748,386
2年4月1日	1,723,409	3,753,771
2年5月1日	1,729,908	3,760,467

人口の対前年同月比増加数の推移



* 市域面積は、令和2年3月13日現在の本市数値で、小数第3位を四捨五入しています。

3 前月中の人口動態（行政区別）

令和2年5月中

区 分	社 会 動 態								自 然 動 態			人 口 増 減
	市 外 移 動			市 内 移 動			社 会 増 減	出 生	死 亡	自 然 増 減		
	転 入	転 出	増 減	転 入	転 出	増 減						
横浜市	7,424	7,132	292	4,487	4,484	3	-32	263	1,950	2,523	-573	-310
男	4,099	3,974	125	2,339	2,338	1	-25	101	1,023	1,361	-338	-237
女	3,325	3,158	167	2,148	2,146	2	-7	162	927	1,162	-235	-73
鶴見区	714	667	47	220	245	-25	-22	0	160	194	-34	-34
神奈川区	612	586	26	393	415	-22	-3	1	127	151	-24	-23
西区	295	304	-9	214	278	-64	-13	-86	66	60	6	-80
中区	468	406	62	348	300	48	-38	72	63	118	-55	17
南区	373	365	8	396	379	17	-4	21	84	148	-64	-43
港南区	204	273	-69	257	227	30	14	-25	103	154	-51	-76
保土ヶ谷区	366	300	66	293	297	-4	6	68	80	153	-73	-5
旭区	278	292	-14	274	287	-13	15	-12	111	199	-88	-100
磯子区	303	278	25	230	243	-13	-15	-3	89	142	-53	-56
金沢区	284	309	-25	168	179	-11	-1	-37	86	151	-65	-102
港北区	1,105	873	232	413	383	30	-1	261	229	196	33	294
緑区	328	348	-20	211	197	14	7	1	99	121	-22	-21
青葉区	686	714	-28	195	184	11	-1	-18	159	166	-7	-25
都筑区	391	383	8	164	256	-92	13	-71	116	98	18	-53
戸塚区	481	439	42	294	257	37	6	85	177	182	-5	80
栄区	180	183	-3	111	122	-11	2	-12	59	84	-25	-37
泉区	201	218	-17	164	142	22	-4	1	87	111	-24	-23
瀬谷区	155	194	-39	142	93	49	7	17	55	95	-40	-23

※ 「その他」は、職権による記載と消除等です。

4 年次別人口動態

区 分	社 会 動 態								自 然 動 態			人 口 増 減
	市 外 移 動			市 内 移 動			社 会 増 減	出 生	死 亡	自 然 増 減		
	転 入	転 出	増 減	転 入	転 出	増 減						
平成28年中	140,829	132,234	8,595	69,617	69,527	90	-200	8,485	29,749	31,833	-2,084	6,401
29	140,759	134,518	6,241	69,693	69,627	66	-246	6,061	28,611	32,684	-4,073	1,988
30	147,977	134,397	13,580	70,864	70,824	40	-164	13,456	27,891	33,487	-5,596	7,860
令和元年中	151,930	135,653	16,277	69,242	69,195	47	-139	16,185	26,394	33,594	-7,200	8,985
2年1-5月	75,872	62,126	13,746	31,312	31,293	19	603	14,368	10,444	14,584	-4,140	10,228
31年1月-元年5月	78,601	67,197	11,404	30,723	30,699	24	145	11,573	10,790	14,825	-4,035	7,538

・この情報は、インターネットの横浜市ホームページに登録されています。

横浜市統計情報ポータルアドレス <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/>

青葉区 火災・救急状況

令和2年6月2日(火)現在

青葉区内 火災発生状況				
年 別	令和2年	令和1年	増△減	
件 数	11件	13件	△ 2件	
火災種別	建 物	7件	12件	△ 5件
	林 野	0件	0件	0件
	車 両	1件	0件	1件
	船 舶	0件	0件	0件
	航 空 機	0件	0件	0件
	そ の 他	3件	1件	2件
損害	焼損床面積	92㎡	0㎡	92㎡
	死 者	1人	0人	1人
	焼死等	0人	0人	0人
	放火自殺	1人	0人	1人
	負傷者	0人	0人	0人

横浜市内 火災発生状況				
年 別	令和2年	令和1年	増△減	
件 数	336件	336件	0件	
火災種別	建 物	201件	201件	0件
	林 野	0件	1件	△ 1件
	車 両	31件	20件	11件
	船 舶	1件	1件	0件
	航 空 機	0件	0件	0件
	そ の 他	103件	113件	△ 10件
損害	焼損床面積	2,774㎡	2,997㎡	△ 223㎡
	死 者	9人	14人	△ 5人
	焼死等	7人	10人	△ 3人
	放火自殺	2人	4人	△ 2人
	負傷者	48人	58人	△ 10人

青葉区内 主な出火原因				
年 別	令和2年	令和1年	増△減	
1	たばこ	3件	3件	0件
2	こんろ	2件	2件	0件
3	灯火	1件	0件	1件
4	電気機器	1件	3件	△ 2件
5	放火	1件	1件	0件

横浜市内 主な出火原因				
年 別	令和2年	令和1年	増△減	
1	放火	87件	86件	1件
2	たばこ	41件	60件	△ 19件
3	こんろ	37件	38件	△ 1件
4	配線器具	19件	10件	9件
5	ストーブ	17件	13件	4件

青葉区内 救急状況				
年 別	令和2年	令和1年	増△減	
件 数	4,753件	5,142件	△ 389件	
急 病	3,198件	3,451件	△ 253件	
交通 事故	189件	273件	△ 84件	
一 般 負 傷	983件	967件	16件	
そ の 他	383件	451件	△ 68件	

横浜市内 救急状況				
年 別	令和2年	令和1年	増△減	
件 数	79,938件	86,943件	△ 7,005件	
急 病	55,625件	60,205件	△ 4,580件	
交通 事故	3,338件	4,121件	△ 783件	
一 般 負 傷	14,379件	15,139件	△ 760件	
そ の 他	6,596件	7,478件	△ 882件	

行政区別 火災発生状況				
年 別	令和2年	令和1年	増△減	
合 計	336件	336件	0件	
鶴見	28件	48件	△ 20件	
神奈川	19件	26件	△ 7件	
西	17件	8件	9件	
中	27件	30件	△ 3件	
南	23件	20件	3件	
港南	24件	24件	0件	
保土ヶ谷	11件	14件	△ 3件	
旭	22件	18件	4件	
磯子	11件	12件	△ 1件	
金沢	17件	13件	4件	
港北	32件	38件	△ 6件	
緑	20件	12件	8件	
青葉	11件	13件	△ 2件	
都筑	14件	16件	△ 2件	
戸塚	32件	17件	15件	
栄	4件	7件	△ 3件	
泉	13件	11件	2件	
瀬谷	11件	9件	2件	

行政区別 救急状況				
年 別	令和2年	令和1年	増△減	
鶴見	5,762件	6,431件	△ 669件	
神奈川	5,011件	5,472件	△ 461件	
西	3,123件	3,881件	△ 758件	
中	5,925件	6,796件	△ 871件	
南	5,034件	5,380件	△ 346件	
港南	4,855件	5,252件	△ 397件	
保土ヶ谷	4,470件	4,612件	△ 142件	
旭	5,407件	5,767件	△ 360件	
磯子	3,780件	3,940件	△ 160件	
金沢	4,461件	4,760件	△ 299件	
港北	6,359件	7,042件	△ 683件	
緑	3,625件	3,792件	△ 167件	
青葉	4,753件	5,142件	△ 389件	
都筑	3,214件	3,633件	△ 419件	
戸塚	5,810件	6,208件	△ 398件	
栄	2,516件	2,647件	△ 131件	
泉	3,163件	3,285件	△ 122件	
瀬谷	2,648件	2,875件	△ 227件	
市外	22件	28件	△ 6件	

※本年数値は速報のため、変更することがあります。

横浜市青葉消防署